

ことばとところを育てる
読書活動

茅野市の読書活動

小中学校の
朝読書のようにと
春の学校図書館から



茅野市の朝読書

2024.5

朝読書の4原則（朝の読書推進協議会）をもとに 茅野市では次のように考えて取り組んでいます ～ みんなでやる・毎日やる・好きな本でよい・ただ読むだけ ～

- ① みんなでやる … 子どもたちも先生も、教室も職員室も、みんなで本に浸ります
- ② 毎日やる … 毎朝10分、行事があっても、テストの日でも、毎日本に浸ります
- ③ 好きな本でいい … 学校の図書館にある本から、自分で選びます
担任の先生や学校司書が、本を選ぶアドバイスをしてくれます
- ④ ただ読むだけ … 感想を求めたりしません
時には、読み聞かせをしていただくこともあります
校内の姉妹学級で、ペア読書を楽しむこともあります

学校全体が、本に浸る素敵な時間です

※著作権に配慮し、一部写真が鮮明でないものもあります。ご了承ください。

みんな一緒に朝読書～こころ穏やかな一日のはじまり

本に浸る環境づくり① ～ 子どもたちも先生もみんないっしょに本に浸る

市内 どの学校におじゃまして

朝読書の時間になると 校舎の中がしっとりと静寂に包まれます
低学年の教室から

読み聞かせをする先生の優しい声が
聞こえて来ます

中学校では生徒のいない部屋で
一人本に浸る先生の姿がありました
小学校の保健室でも 職員室でも
子どもがいてもいなくても
朝読書を共有する先生方



永明中



北山小



永明中

本を手に 登校してくる子どもたちの様子を見守っていた
校長先生も
いつのまにか
子どもと一緒に
本に浸っています



永明小



豊平小

今日は何のおはなしかな？
身を乗り出して、表紙をのぞき込む子どもたち

入学して間もない
1年生も
担任の先生の
温かい声に包まれて
おはなしの世界に
浸っていきます



玉川小



金沢小

チャイムが鳴る前から、担任の先生が本を開き
教室の中は 誰も何も言わなくても
しっとりと落ち着いていきます。



金沢小

クラスみんなが揃うと
担任の先生の読み聞かせが始まり
子どもたちの笑顔が広がりました



永明小

「先生、これはね…」
図鑑を手に、先生と一冊の本をのぞき込む子
その子なりの 読書の楽しみ方を
しっかりと受け止めながら
ひとりひとり すべての子どもの読書の時間を
大切にしています

本に浸る環境づくり② ～ 子どもたちも先生も時間を守る

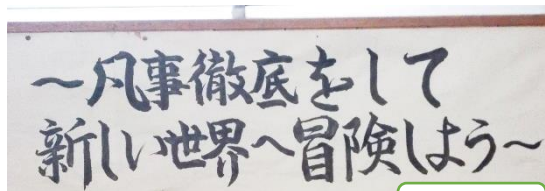


北部中

階段の踊り場に掲げられたメッセージ
ひとつひとつ

真摯に取り組もうという学年の目標が胸に響きます

この日 1時間目が学年集会だった3年生
廊下で打ち合わせをする先生方の横を静かに通り過ぎ
ホールに入ると 誰からともなく本を読み始めました
朝読書の時間になると
打合せを終えた先生方が そっとそのわきに腰かけて
ページを開き 穏やかな時間が流れていきます



東部中



湖東小

そのたびに口うるさく伝えるのではなく
子どもたちが自分で判断して
取り組むことができるように
オルゴール 放送 時計など
各校で様々な工夫がされています

オルゴールが鳴り ぎりぎりに到着
そんな子たちもかばんの用意は後にして
本の世界に交じっていきます
床に座ることに抵抗がある子に配慮し
椅子に座って聞く子どもたち
先生はその目線に合わせて本を持ちます



金沢小



永明小

朝読書の開始時刻ギリギリに帰ってきた子も
教室の前にあるブックトラックから
本を選ぶことができます
いつでも どこでも 本が身近にあることで
安心して本の世界に入っていくことができます

本に浸る環境づくり③ ～ 黒板や机の上…ちょっとしたことが集中に繋がります

朝の黒板は 先生と子どもたちをつなぐ大切な画面



東部中

真っ新な黒板に迎えられ
「今日は、どんなことがあるのかな」と
真っ新な気持ちで
一日を迎える子どもたち

時には チョークの粉一つなく
きれいに拭きあげられた黒板に
先生からのメッセージを見つけ
その一言一言に
ドキドキワクワクする 子どもたち

メッセージの役目を終えた黒板は再び 真っ新になって子どもたちを本の世界に誘います

教室の大切な黒板は 読書の時にも、大きな力を発揮します

読み聞かせの時には 絵本の背景となって
絵を引き立ててくれます
自分の本に読み浸ってふと顔を上げたときに
目にするのが真っ新な黒板なら
その画面の中に
自分のおはなしの世界を描くことができるのです



米沢小

おはなしによっては
外の景色を活かすことも…
担任の先生の想いが
伝わってきます



永明小





泉野小

机の上に本が2冊

1冊読み終わると もう1冊を開きます

借り換えに席を立つことなく 静かに読み続ける心遣い

この10分を大切に 本の世界に集中する気持ち

すてきですね

朝の陽ざしを

そっと遮りながら

本に集中する環境で

思い思いの本に浸ります



長峰中

本に浸る環境づくり④ ～ 余韻を大切にする



宮川小

ページをめくる前に 子どもたちの顔を見て一呼吸

子どもたちと目が合っ て おはなしの世界を共有します

ちょっと 乗り切れずにいた子も

先生と目が合うと おはなしの世界に戻ってきます

ページごとにも

余韻があります

余韻の中で

子どもたちは

想像の世界を

ふくらませていきます



米沢小

10分が過ぎて 終わりの時間

まだ読みたい気持ちを抑えきれず

ロッカーまで読み続ける姿も・・・

決して 早くしなさいなんて言わない先生

おはなしの余韻に浸りながら

時間を守ろうとする子どもの思いを大切に

見守ります



玉川小

新しく茅野市に着任された先生がこう言っていました

（朝読書の時間が）帯で入っている（毎日同じ時刻）ので、どの子にもわかりやすく、しっとりとスタートできます。（毎日本を読むことで）少しずつ、絵を見て、文字を見て、自分たちの心の栄養にしていきたいです。